

第8回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール受賞作品一覧

H27.9.18

低学年（1～2年生）の部 [応募総数：47点]

小低6：大崎市立富永小学校2年生 大場 佳人（おおば けいと）

作品名：「小さなイス」

作品の説明：お母さんといっしょに、いらなくなった木をつかって小さいイスをつくりました。カッターで木をけずるのがむずかしかったです。



県知事賞

小低8：栗原市立栗駒小学校1年生 坂田 快士（さかた かいと）

作品名：「SLにのってたびにいこう」

作品の説明：木の枝をたくさん拾って作りました。ノコギリで切るのが大変でした。



教育長賞

小低4：仙台市立黒松小学校2年生 船越 悠太郎 (ふなこし ゆうたろう)

作品名：「夏の森」

作品の説明：こん虫がいっぱいの森を作りました。セミ、クワガタ、カブト虫などがなかよくあそんでいるところです。



教育長賞

小低5：大崎市立下伊場野小学校1年生 鈴木 瑠衣斗 (すずき るいと)

作品名：「こびとのツリーハウス」

作品の説明：おじいちゃんが木を切ってくれて、ぼくがボンドで貼りました。はしごのところがいへんでした。こびとのねるへやと、つばきのみが気に入っています。



宮城県木材同友会会長賞

小低12：登米市立錦織小学校2年生 千葉 陽斗 (ちば はると)

作品名：「いす」

作品の説明：みんながすわることができるように、じょうぶに作りました。



宮城木材文化ホール運営委員長賞

小低3：仙台市立根白石小学校1年生 手倉森 花和（てくらもり はな）

作品名：「しかちゃん」

作品の説明：みつけた木が、しかのくびみただったので、しかをつくりました。



宮城県木材協同組合長賞

中学年（3～4年生）の部 [応募総数：58点]

小中4：仙台市立茂庭台小学校4年生 熊谷 眞之介（くまがい しんのすけ）

作品名：「マーキーのいす」

作品の説明：ぬいぐるみのためのいすです。工夫した点は、骨組みにほぞ組みという技術をつかったところです。材料の木は、茂庭台や泉ヶ岳で集めた自然木です。



県知事賞

小中3：仙台市立八本松小学校3年生 最上 愛梨（もがみ あいり）

作品名：「森のプランター三輪車」

作品の説明：大好きなかんよう植物をかざるためのプランターカバーです。木のぬくもりが感じられるように、海や林から、自然の木のえだをさがして組み合わせて作りました。



教育長賞

小中 8 : 栗原市立栗駒小学校 4 年生 熊谷 翔太 (くまがい しょうた)

作品名 : 「まつぼっくりきょうりゅう」

作品の説明 : 拾ったマツボックリを使って作りました。首と体をつなげるのが難しく、針金で押さえました。

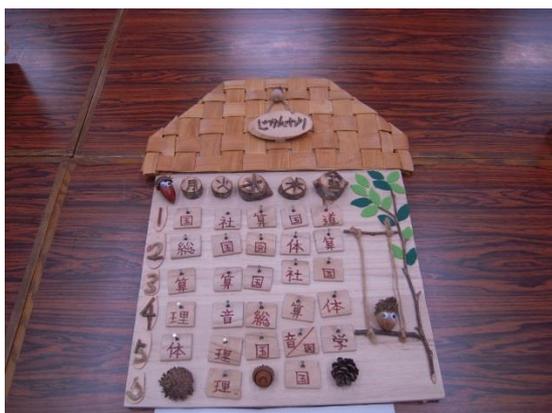


教育長賞

小中 6 : 大崎市立東大崎小学校 3 年生 佐々木 乃々香 (ささき ののか)

作品名 : 「木で作った時間割表」

作品の説明 : 6 年間使えるように木を使って作りました。家にあった木を使いました。



宮城木材文化ホール運営委員長賞

小中 5 : 加美町立鹿原小学校 3 年生 矢瀧 そら (やたき そら)

作品名 : 「虫のひょうほん」

作品の説明 : ぼくは、でっかいショウリョウバッタがすきなので、木の皮で作ってみました。他にも、いろいろな虫のひょうほんをつくりました。



宮城県木材協同組合長賞

小中9：東松島市立鳴瀬桜華小学校3年生 高橋 悠太郎 (たかはし ゆうたろう)

作品名：「金のたんす」

作品の説明：がんばったのは板を切ることで、くぎを打つことです。とびらのところがきちんとかくようにうまく作れました。



宮城県木材同友会会長賞

高学年（5～6年生）の部 [応募総数：53点]

小高7：栗原市立栗駒小学校6年生 千葉 結衣 (ちば ゆい)

作品名：「木目パズル」

作品の説明：最初は、木に絵をかこうと思いましたが、木目がきれいだったので、木目パズルにしました。2段のパズルになっています。



県知事賞

小高4：仙台市立国見小学校6年生 五十嵐 絢音 (いがらし あやね)

作品名：「森の学校、ランチタイム」

作品の説明：自分の教室の配ぜんの様子をモデルにして作りました。1人ひとりの表じょうにも工夫しました。



教育長賞

小高1：白石市立大鷹沢小学校5年生 佐竹 佑一郎 (さたけ ゆういちろう)

作品名：「三角コーナー台」

作品の説明：逝ってしまった祖父が残っていた木材を何日もかけてノコギリで切り、ヤスリをかけて三角コーナー台を完成させました。



教育長賞

小高10：東松島市立鳴瀬桜華小学校6年生 安倍 詩織 (あべ しおり)

作品名：「秋の赤とんぼとかたつむり」

作品の説明：竹でつくりました。赤くぬったのは、秋になると赤とんぼがでるから赤がいいと思いました。難しかったのは、羽の大きさや重さを平等にしてバランスをとる事です。



宮城県木材協同組合長賞

小高2：柴田町立西住小学校6年生 角田 凜衣 (かくだ りりい)

作品名：「小さなツリーハウス」

作品の説明：もし、自分のツリーハウスがあったらそこで毎日バーベキューをして家族や友達がたくさん集まるような場所にしたいと思って作りました。



宮城県木材同友会会長賞

小高1 2：登米市立加賀野小学校6年生 伊澤 裕太 (いさわ ゆうた)

作品名：「小物入れ箱」

作品の説明：真ん中で区切って2つの部屋にした。外側の見える部分を矢羽根板を使って工夫した。



宮城木材文化ホール運営委員会会長賞

特別支援（特別支援学級・支援学校）の部 [応募総数：2点]

特1：仙台市立田子小学校5年生 加藤 雛埜 (かとう ひなの)

作品名：「秋のベンチ」

作品の説明：ベンチを作ってみました。お家の庭でバーベキューをする時に妹と座れるベンチを作ってみました。ビスのところが見えないように、自分で拾っていた栗とどんぐりを付けてみました。



宮城県木材協同組合会長賞

特2：宮城県立聴覚支援学校 6年生 猿橋 璃綺（さるはし りき）

作品名：「お子様イス」

作品の説明：お子様イスを作りました。イスの下に引出しを付けて、収納ができるようにしました。



宮城県木材同友会会長賞

○審査状況

